SEKISUI

取扱説明書 仕様編

自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機
1缶式 フルオートタイプ

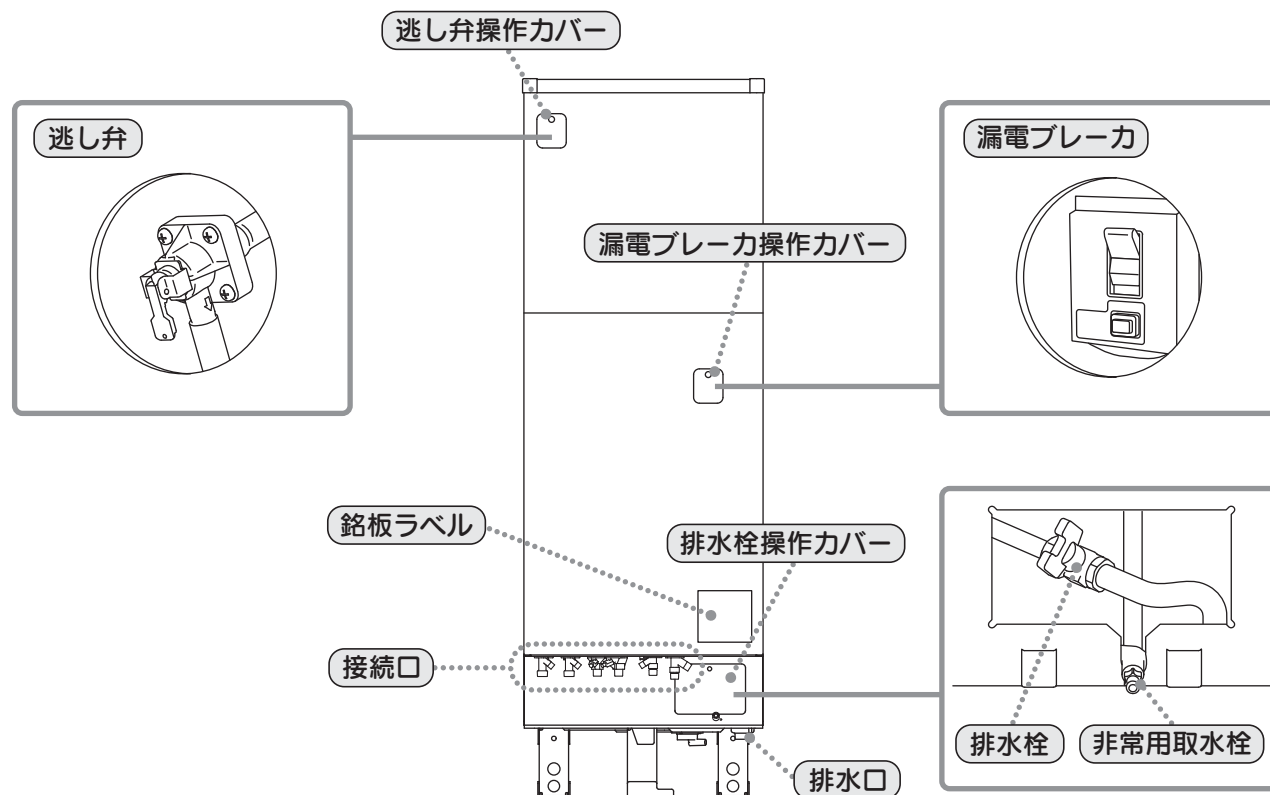
		システム形式	貯湯ユニット	ヒートポンプユニット
一般地向け	370L	CUF-37ML1	CFT-37ML1	CFH-4512
		CUF-37ML2	CFT-37ML2	CFH-4512
		CUF-37ML3	CFT-37ML3	CFH-H4512
	460L	CUF-46ML1	CFT-46ML1	CFH-6012
		CUF-46ML3	CFT-46ML3	CFH-H6012
一般地向け高圧力パワフル給湯	370L	CUF-E37ML1	CFT-E37ML1	CFH-4512
	460L	CUF-E46ML1	CFT-E46ML1	CFH-6012
耐塩害仕様	370L	CUF-37ML1JE	CFT-37ML1JE	CFH-4512E
	460L	CUF-46ML1JE	CFT-46ML1JE	CFH-6012E

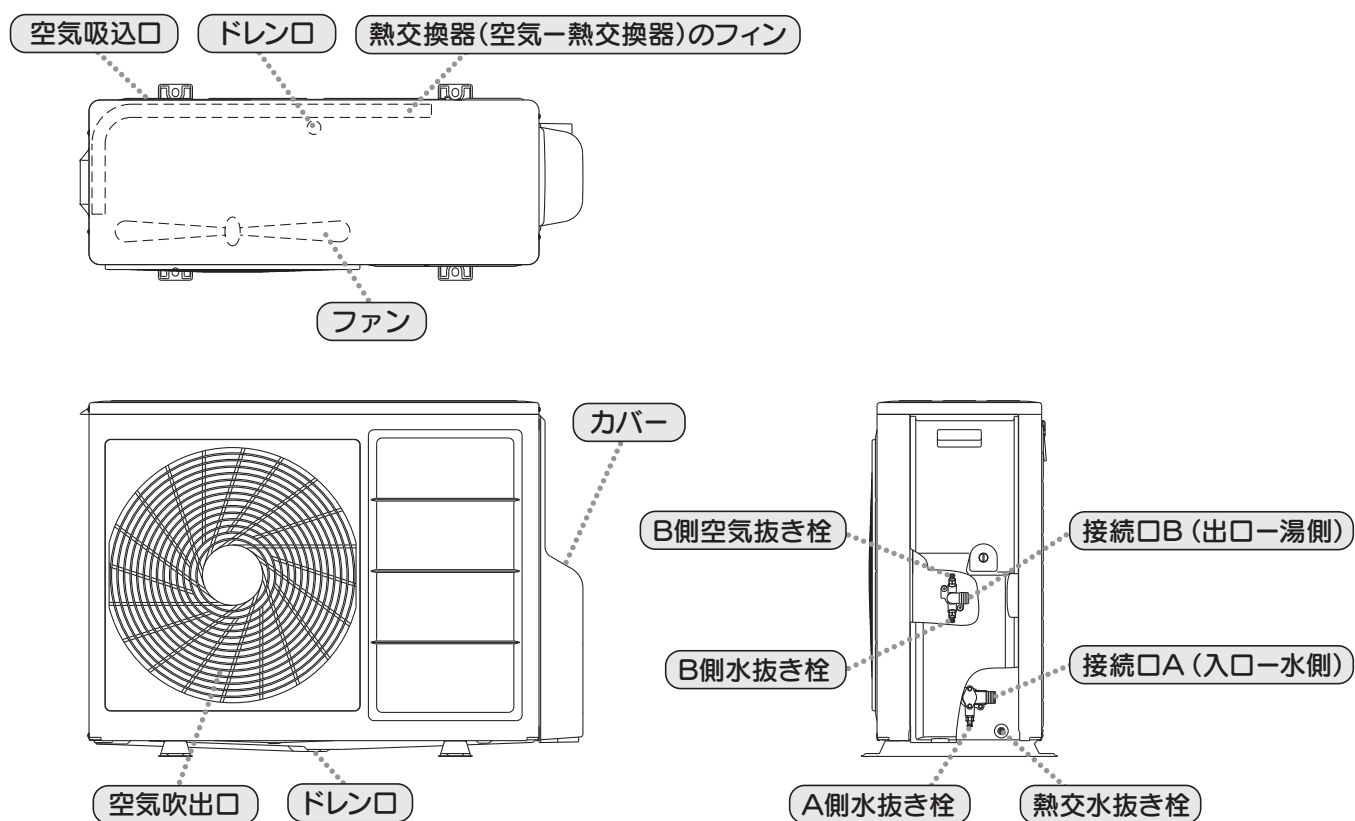
	台所リモコン	浴室リモコン
インターホンリモコン	CFR-MDAD12-W	CFR-BDAD11-W
ボイスリモコン	CFR-MDA12-W	CFR-BDA11-W

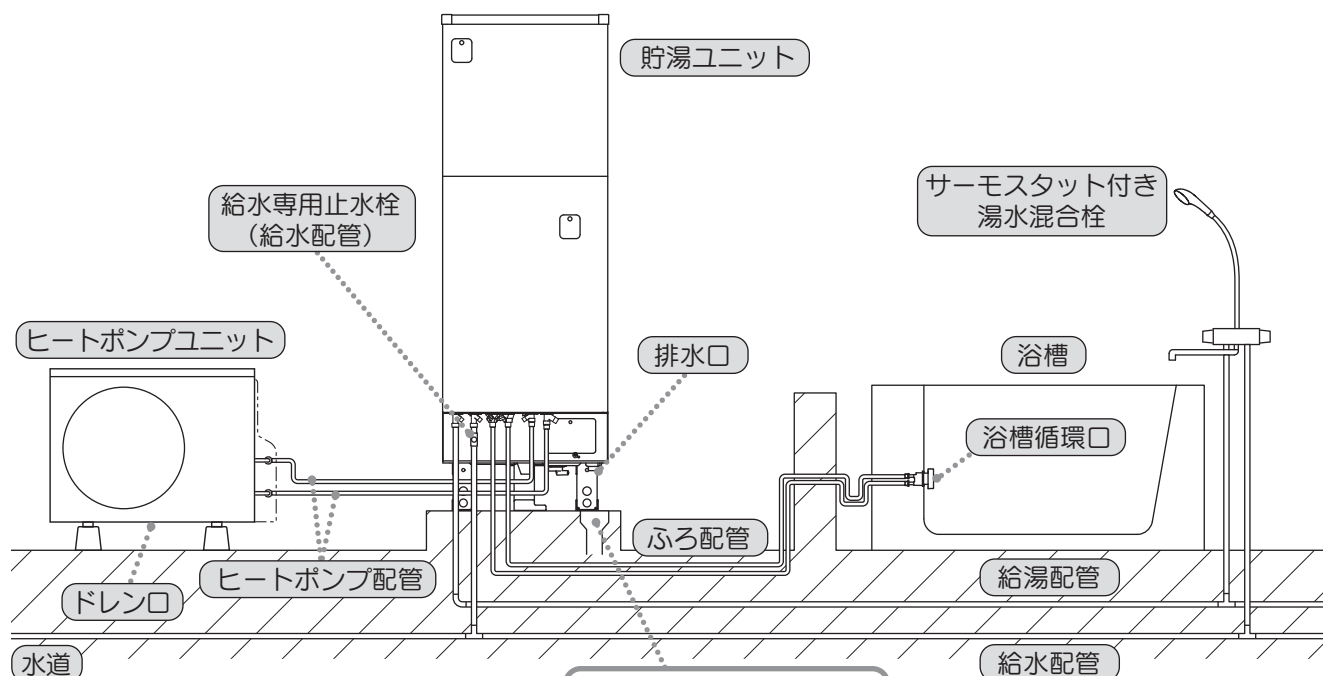
もくじ

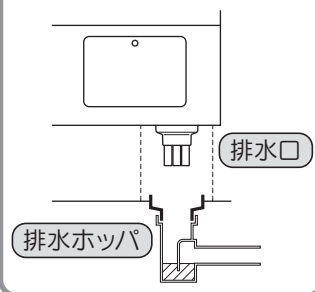
●このたびは、自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
●この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
そのあとは、別冊の「取扱説明書 操作編」、「保証書」と一緒に必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。
●お買い上げの機種の形式は、「保証書」の表示または貯湯ユニットの銘板ラベルをご確認ください。

製品構成と各部のなまえ

貯湯ユニット

※上記のイラストは、370Lタイプです。
　機種により、逃し弁の取付方向、接続口の配置および脚の形状が異なります。

ヒートポンプユニット

製品構成と各部のなまえ

接続配管例

お知らせ

- 沸上げ運転中および沸上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンク内の水の温度が上昇したときの膨張分が、貯湯ユニットの排水口から出ます。
- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

お願い

●水栓は湯水混合栓を使用してください。またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
●水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合は、逃し弁よりお湯が排水される場合があります。

接続配線例

（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約専用）

●引込み配線方式には、A方式とB方式があります。適合する配線方式は、地域の電力会社へ確認してください。（適合する配線方式は、電力会社、機器により異なる場合があります。）

仕様

	形式		CUF-37ML1	CUF-37ML2	CUF-37ML3	CUF-46ML1	CUF-46ML3
システム	タイプ		フルオート				
	適用電力制度		時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）				
	相数　定格電圧　定格周波数		単相　200V　50／60Hz				
	最大電流		16A			17A	
	沸上げ温度範囲		約65℃～約90℃				
	年間給湯保温効率（JIS）※1※2		3.0		3.3	3.0	3.2
	仕向地		次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南 ※3				

	形式		CFT-37ML1	CFT-37ML2	CFT-37ML3	CFT-46ML1	CFT-46ML3
貯湯ユニット	種類		屋外形・屋内形　兼用				
	タンク容量		370L			460L	
	水側最高使用圧力		190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）				
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		1880㎜×630㎜×730㎜			1870㎜×700㎜×795㎜	
	質量（製品質量／満水時質量）		69kg／439kg	70kg／440kg	69kg／439kg	80kg／540kg	80kg／540kg
	消費電力	ふろ保温	65W：循環ポンプ				
		制御用	11W（リモコン消灯時 5W）				
	貯湯機能		おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン				
	ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・省エネ保温・自動たし湯・追いだき・たし湯・さし水・高温さし湯（追いだきスイッチ3秒押し）				
	基準浴槽		有効水量 180L～220L（満水容積 340L 以下の浴槽）				

	形式	CFH-4512	CFH-H4512	CFH-6012	CFH-H6012
ヒートポンプユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	650㎜×820㎜[カバー部+80㎜]×300㎜	690㎜×820㎜[カバー部+80㎜]×300㎜	650㎜×820㎜[カバー部+80㎜]×300㎜	690㎜×820㎜[カバー部+80㎜]×300㎜
	質量	49kg	57kg	51kg	57kg
	中間期標準加熱能力／消費電力 ※4※5	4.5kW／1.025kW	4.5kW／0.885kW	6.0kW／1.365kW	6.0kW／1.230kW
	中間期標準運転電流 ※5	6.1A	5.8A	7.3A	7.1A
	中間期標準エネルギー消費効率	4.4	5.1	4.4	4.9
	夏期標準加熱能力／消費電力 ※4※6	4.5kW／0.900kW	4.5kW／0.815kW	4.5kW／0.900kW	4.5kW／0.815kW
	冬期高温加熱能力／消費電力 ※4※7※8	4.5kW／1.500kW	4.5kW／1.500kW	6.0kW／2.000kW	6.0kW／2.000kW
	ヒートポンプ運転音 ※9（中間期 ※5／冬期 ※7）	38dB／43dB	38dB／43dB	40dB／45dB	42dB／45dB
	冷媒名 及び 封入量	CO_2　0.825kg	CO_2　0.875kg	CO_2　0.700kg	CO_2　0.875kg
	設計圧力（高圧／低圧）	14.0MPa／8.5MPa			
	設置可能最低外気温度	－10℃			

※１　年間給湯保温効率（JIS）は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率（JIS）とし、以下の式で求められます。
　年間給湯保温効率（JIS）＝１年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ １年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
※２　年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２℃／１℃、水温５℃、沸上げ温度９０℃
冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度７０℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度７２℃
夜間消費電力量比率（JIS C 9220:2011 冬期給湯保温モード条件時）：８０％
※３　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など
※４　沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※５　中間期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）１６℃／１２℃、水温１７℃、沸上げ温度６５℃
※６　夏期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２５℃／２１℃、水温２４℃、沸上げ温度６５℃
※７　冬期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）７℃／６℃、水温９℃、沸上げ温度９０℃
※８　低外気温時は加熱能力が低下することがあります。
※９　運転音は、JIS C 9220:2011 に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

●年間給湯効率（JRA）表

システム形式	CUF-37ML1	CUF-37ML2	CUF-37ML3	CUF-46ML1	CUF-46ML3
年間給湯効率（JRA）※10	3.4		3.9	3.3	3.8

※10　年間給湯効率（JRA）は、（社）日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、１年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を１日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。
　年間給湯効率（JRA）＝１年で使用する給湯に係る熱量 ÷ １年間で必要な消費電力量

仕様

	形式		CUF-E37ML1	CUF-37ML1JE	CUF-E46ML1	CUF-46ML1JE
システム	タイプ		フルオート			
	適用電力制度		時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型（通電制御型）			
	相数　定格電圧　定格周波数		単相　200V　50／60Hz			
	最大電流		16A		17A	
	沸上げ温度範囲		約65℃～約90℃			
	年間給湯保温効率（JIS）※1※2		3.0		3.0	
	仕向地		次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南　※3			

	形式		CFT-E37ML1	CFT-37ML1JE	CFT-E46ML1	CFT-46ML1JE
貯湯ユニット	種類		屋外形・屋内形　兼用			
	タンク容量		370L		460L	
	水側最高使用圧力		290kPa（減圧弁設定圧：260kPa）	190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）	290kPa（減圧弁設定圧：260kPa）	190kPa（減圧弁設定圧：170kPa）
	外形寸法（高さ×幅×奥行）		1880㎜×630㎜×730㎜		1870㎜×700㎜×795㎜	
	質量（製品質量／満水時質量）		69㎏／439㎏	69㎏／439㎏	80㎏／540㎏	80㎏／540㎏
	消費電力	ふろ保温	65W：循環ポンプ			
		制御用	11W（リモコン消灯時 5W）			
	貯湯機能		おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン			
	ふろ給湯機能		自動湯はり・自動保温・省エネ保温・自動たし湯・追いだき・たし湯・さし水・高温さし湯（追いだきスイッチ3秒押し）			
	基準浴槽		有効水量 180L～220L（満水容積 340L 以下の浴槽）			

	形式	CFH-4512	CFH-4512E	CFH-6012	CFH-6012E
ヒートポンプユニット	外形寸法（高さ×幅×奥行）	650㎜×820㎜［カバー部＋80㎜］×300㎜			
	質量	49㎏		51㎏	
	中間期標準加熱能力／消費電力　※4※5	4.5kW／1.025kW		6.0kW／1.365kW	
	中間期標準運転電流　※5	6.1A		7.3A	
	中間期標準エネルギー消費効率	4.4		4.4	
	夏期標準加熱能力／消費電力　※4※6	4.5kW／0.900kW		4.5kW／0.900kW	
	冬期高温加熱能力／消費電力　※4※7※8	4.5kW／1.500kW		6.0kW／2.000kW	
	ヒートポンプ運転音 ※9（中間期 ※5／冬期 ※7）	38dB／43dB		40dB／45dB	
	冷媒名 及び 封入量	CO_2　0.825㎏		CO_2　0.700㎏	
	設計圧力（高圧／低圧）	14.0MPa／8.5MPa			
	設置可能最低外気温度	－10℃			

※１　年間給湯保温効率（JIS）は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率（JIS）とし、以下の式で求められます。
　年間給湯保温効率（JIS）＝１年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ １年間に必要な消費電力量
　地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。
※２　年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
　着霜期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２℃／１℃、水温５℃、沸上げ温度９０℃
　冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度７０℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度７２℃
　夜間消費電力量比率（JIS C 9220:2011 冬期給湯保温モード条件時）：８０％
※３　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など
※４　沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※５　中間期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）１６℃／１２℃、水温１７℃、沸上げ温度６５℃
※６　夏期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２５℃／２１℃、水温２４℃、沸上げ温度６５℃
※７　冬期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）７℃／６℃、水温９℃、沸上げ温度９０℃
※８　低外気温時は加熱能力が低下することがあります。
※９　運転音は、JIS C 9220:2011 に準拠し、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

●年間給湯効率（JRA）表

システム形式	CUF-E37ML1	CUF-37ML1JE	CUF-E46ML1	CUF-46ML1JE
年間給湯効率（JRA）※10	3.4		3.3	

※10　年間給湯効率（JRA）は、（社）日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、１年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお値は、省エネモードである「おまかせ省エネ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用状況等により変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を１日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。
　年間給湯効率（JRA）＝１年で使用する給湯に係る熱量 ÷ １年間で必要な消費電力量

[高圧力パワフル給湯タイプ]使用上のご注意とお願い

シャワーとふろ自動を同時にご使用になるとき

特に１階が浴室で２階、３階にシャワールームがあるような場合には、シャワー使用中にふろ自動運転をするとシャワーの出湯量が少なくなることがあります。

シャワーの出湯量が少なくなる場合は、おふろの湯はりを途中でやめてください。（リモコンのふろ自動スイッチを押してください。シャワーの使用が終わってからふろ自動スイッチを押して再運転をしてください。）
または、湯はりが完了（「おふろが沸きました」と音声でお知らせします）してから、シャワーを使用してください。

定期点検（有料）

●自然冷媒 CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機を長くお使いいただくために、３～４年に一度、定期点検（有料）をおこなってください。

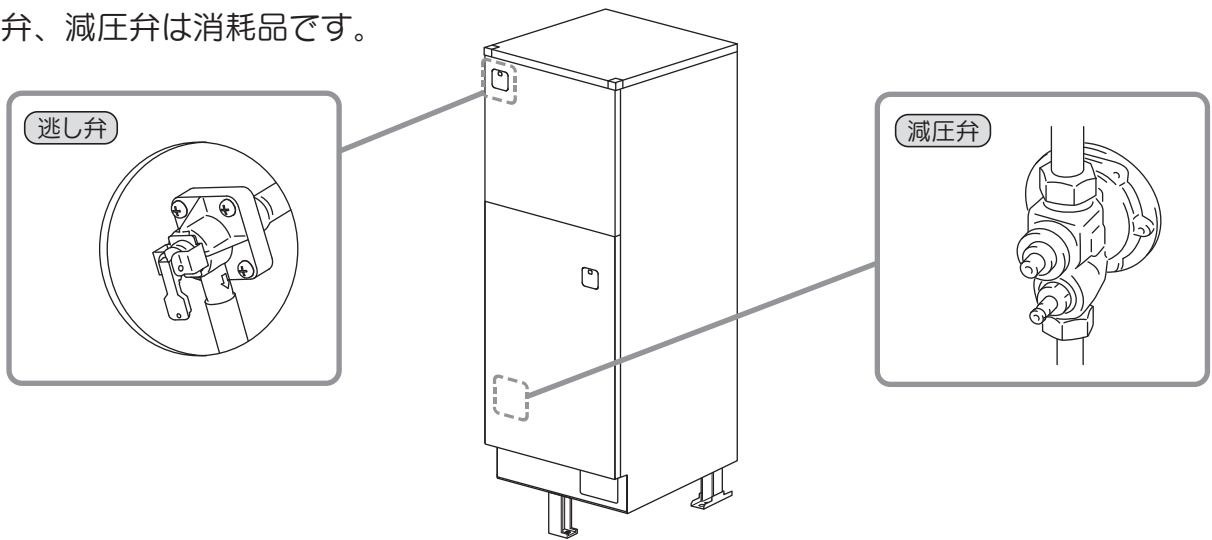
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。

定期点検の主な内容

定期点検については、販売店・工事店または株式会社コロナへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、減圧弁）などの点検。
清掃	貯湯ユニット内の清掃。（タンク内沈殿物の除去など）

消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁は消耗品です。

保証とアフターサービス

故障、修理については･･･

お買い上げの販売店、工事店または株式会社コロナにご連絡ください。
当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

●工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯ユニットに添付されています。「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げいただいた日から２年間です。
ただし、コンプレッサー・熱交換器は３年間、缶体は５年間です。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切り後 10 年です。

次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

●誤った使用方法による故障や事故。
●一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
●水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
●凍結による故障・破損。
●当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

修理を依頼されるとき

別冊の取扱説明書 操作編の「故障かなと思ったら」の項目にしたがって調べてもよくならないときは、お買い上げの販売店または 0120-917-567（365日24時間受付け）の窓口にご連絡ください。
保証期間中であれば、保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは･･･

お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有償にて修理させていただきます。

愛情点検	長年ご使用のエコキュートの点検を！			
	こんな症状はありませんか	●漏電ブレーカが自動的に「OFF」になる。 ●コゲくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。 ●熱いお湯が出続ける。 ●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●本体、配管から水が漏れる。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから販売店、工事店または株式会社コロナに点検・修理をご依頼ください。

販売元　**積水ホームテクノ株式会社**

製造元　**株式会社コロナ**

●アフターサービスなどのお問い合わせは株式会社コロナが対応します。
積水商品受付番号　0120-917-567（365日24時間受付け）

225WA3182-0 1 2 3 dsp 24

フルオートタイプ